

しました。また、高野山開創一二〇〇年大法会参拝団編成にご尽力いただき当初の募集人員枠を超えて一四名の参加申込みがあり締め切りとなりました。来年十月五日実施に向け諸準備をしております。



## 中部北陸自然歩道 順徳天皇御火葬塚

承久の変(1221年)で佐渡へ御遷幸の順徳帝は、在島22年仁治3年(1241年)9月46歳で島の行在所で崩御された。この真野山で御火葬、御遺骨は翌寛元元年(1242年)4月從臣藤原康光によって都に帰られ、大原の父後鳥羽帝の墓所の傍らに埋葬された。

この御火葬所の地は従来「真野御陵」と称されてきたが、明治22年6月京都大原墓所が陵に定められると、ここは「御火葬塚」となるが御陵と同じ取り扱いをされ宮内庁で管理。

戦国内乱期に境内は大いに荒廃したが、江戸時代延宝6年(1678年)国分寺と末寺(御陵別当)真輪寺の僧の修復願出により、時の佐渡奉行曾根五郎兵衛は幕府の許可を得、翌年には方五十間の現境域を復旧した。外部の石垣は明治8年相川興参事鈴木重頼の修復になる。

環境庁・新潟県



北朝鮮から帰省した曾我ひとみさんの夫ジェンキンスさんと一緒に撮影していただきました

## 佐渡へ島 研修の「コマ

今年を振り返ってみると、平成二十七年の高野山開創一二〇〇年記念大法会を間近に迎えるに当たり、各地でお待ち受け特別伝道大会が開催されて総代の皆さんと参加いた

今年の総代さんの研修は、佐渡でした。その時の写真を掲載して報告とします。

寿楽院総代さんと新潟県佐渡へ研修旅行をいたしました。そのときの「コマです」(十月二十八・二十九日)

## 分別 (ふんべつ)

分別は、常識的で慎重な考え・判断をすることや、その能力を指す語で、反対語に「無分別」がある。無分別なことを言う、無分別きわまりない、などと思慮を欠いた状態をさして言う。仏教でしきりに使われる分別の意味するところは、日常での用法とは反対のものと考えられている。仏教で「分別」というときは、言葉や考えによって、勝手にこしらえ出す妄想という意味で、無分別は妄想にとられず、ありのままに正しい真理を理解することなのである。

## 仏教が生んだ日本語

**除夜**  
「除夜」とは、旧年を除く夜という意味で、十二月三十一日の夜を言います。  
大晦日には「年越しそば」を食べ、そして俗に「細く長く、来年も幸せを、そばからかきいれる」というもので、引越す「越し蕎麦の「末永くよろしく」という挨拶と同じものであるようです。  
また、散らばっている金箔を金箔師が蕎麦団子にくっつけて集めたことから、蕎麦で金をかき集めるといふ縁起となりましたとも言われています。

## 空海の言葉 シリーズ

じゅうあく(じゅうやく)

十悪に快うして、

ごしん むくい さと

誰か後身の報を覚らん

「秘蔵宝鑑」ひせうほうかん

●●●十悪業を楽しんで毎日を過ごしていると、先でどんな報を受けるか、誰も知るまい。

- 一、殺人、二、盗み、三、淫乱、四、うそ、五、おべつか、六、悪口、七、二枚舌、八、けちと強欲、九、怒りと嫉妬、十、むちやな考え。

これを「十悪の楽しみ」といいます。弘法さんは、こういわれます。

「十悪。これを心に快く(好き勝手に気持ちよく)、日夜につくり(毎日やっていると)、誰が後身の報を覚らん(あとでどんな恐ろしい報いになって現われるかを知っているだろうか)」

あとでどんな目にあつてもかまわない人は、どんな十悪の快楽を楽しんでください。と、お大師さんは戒めています。

